



いやさか通信

(※「いやさか」とは、「栄える」という意味を持つ「弥栄」を平仮名で表記したものです)

弥栄町の人口暫定

年齢	R3.12末(前月比)
0歳～14歳	475人(+1)
15歳～64歳	2,333人(-8)
65歳～	1,869人(-4)
合計	4,677人(-11)

元気で住みやすい地域づくりを目指して

人口減少や少子高齢化が進む中、地域の課題が多様化し、住民の生活にも影響を及ぼす等、行政区単独では解決できない課題が増えてきています。市では、年齢や性別を問わず、誰もが関わりやすい地域運営の仕組みをつくり、多彩な活動を通して住みやすい地域を目指していく。「新たな地域コミュニティ」を推進しています。今年度より、市長公室に地域コミュニティ推進課を新設し、持続可能な地域づくりの実現に向けた活動を支援しています。

弥栄町では、令和元年度に「いやさか地域づくり準備会」が設立され、校区単位で新たな地域づくりに向けた取組みや検討が進められています。昨年度、準備会では地域を維持していく仕組みづくりを検討するため、住民アンケートを実施し、この調査結果を「今後の地域づくりの大きな指針となり、地域の活動に役立ててほしい」という思いを込めて報告書を全戸に配布しました。

各校区においては、吉野校区では「いやさか吉野地域づくり準備会」が設立され、校区独自で住民アン

ケートを実施し、浮かび上がった地域課題の解決に向け毎月会議を開き、地域マネージャーを配置し、地域を維持していく仕組みづくりが検討されています。

溝谷・鳥取校区では、地域コミュニティ推進課を講師に招き、区長さんや役員さんを対象に勉強会が行われました。黒部校区では、区長会において新たな地域づくりに向けた検討が行われています。

既に地域コミュニティ組織が設立されている野間連合区においては、各区の事務の集約化に取り組む等、持続可能な地域運営に向けた実践活動が行われています。

それぞれの校区において、持続可能な地域づくりを目指した取組みや検討が進められており、新たな枠組みでの活動が期待されます。



住民アンケート結果報告書



【野間地域】福祉バス



【いやさか地域づくり準備会】アンケート検討会



【いやさか吉野地域づくり準備会】ワークショップ

地域おこし協力隊の活動日記 ③ ～初めてのどんど焼き～



地域おこし協力隊の平岡です。1月15日に、芋野区内で行われたどんど焼きに参加しました。当日は地域の皆さんが集まり、正月飾りを燃やしました。私は今までどんど焼きというものをしたことが無く、初めての経験でした。

どんど焼きは、その熾火で焼いた餅やみかんを食べると1年間健康で過ごすことができ、また、どんど焼きの灰を家の周りに撒くと魔除けになるとも言われており、集まれた方々は「来年は餅を持って来よう！」と、暖をとりながら楽しくお話していました。



今年1年間の健康を祈願しました